

杏林大学(学部入学定員:4,628人)

[取組学部・研究科等: 外国語学部(1,006人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

本構想は、「中国語圏で活躍する、スマートでタフな日中英トライリンガル人材の育成」を目指すものである。今後の国際的な開発・技術・経済の協力と競争は中国語文化圏が中心になるという認識のもと、「卓抜した語学力」と「スマートでタフな交渉能力」を兼ね備えた、日本の国際競争力向上に資するグローバル人材を育成する。

【構想の概要】

本構想は、外国語学部の「実践的な語学教育」に、総合政策学部の「アジアに軸足を置いた学際的視座の教育・研究資源」を導入し、クリエイティブな成果を導き出す「問題発見力」「問題解決力」「自己表現力」を兼ね備えた人材を育成する。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

体系的カリキュラムの整備として、ナンバリングや成績評価のGPAを早期に導入する。さらに、「主体的な留学プログラム」を構築し、「留学準備→留学→留学後展開」という留学を軸とした主体的な学びを、学士課程修了までに完了させるプログラムを運用していく。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

HPや各種媒体を通して海外に発信すべき情報は、日本語に加え中国語と英語を用い、海外からのアクセスの利便性向上を図る。また「日本発信プロジェクト」を通して、日本文化や産業、本学の特色の一つである医療や言語教育等の情報を海外、特に協定校と協定締結を目指す機関に向けて発信する。

○ 事務体制のグローバル化

「国際交流課」を設置し、十分な語学の素養を備えた職員を新たに採用する。また、本構想の様々な活動に職員も同行させることを通して大学事務職員全体のグローバル化や語学力のスキルアップを推奨する。

■ グローバル人材として求められる能力の育成

1. 卓抜した語学力

「責任ある仕事を遂行できる語学力」を養成するため、独自開発の実践的語学教育プログラムを少人数クラスで実施する。さらに、母語話者と目標言語のみでコミュニケーションをする「中国語サロン」「英語サロン」の常設、中国の名門大学から来ている留学生との積極的な交流、e-ラーニング、海外放送の常時放映、同時通訳システムの積極的活用等を通し、より実践的な語学力の習得を目指す。

2. スマートでタフな交渉能力

「自他の文化と教養に精通し、文化的慣習をわきまえ、対等に交渉することで創造的な結論を導き出せる能力」を養成するため、総合政策学部開講科目の積極的な履修、PBL形式のディベートシミュレーション「ケーススタディ演習」を通して、語学検定試験のスコアには表れにくい「問題発見力」「問題解決力」「自己表現力」を涵養する。留学後に行う「プログラム修了プレゼンテーション」や「卒業研究報告会」を中国語あるいは英語で行い、母語話者との質疑応答能力を外部評価委員が判定することで学習成果を評価する。



〈実践を通して学ぶ語学教育プログラム〉

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

課題のやり取りを通じ学習成果を評価する「AO入試」、語学検定試験の資格やスコアを利用する「資格取得者制推薦入試」、留学経験・在外経験を評価する「帰国子女入試」等で、入学以前の語学力や海外経験を最大限評価する。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

独自開発プログラムの年度毎の改訂、インテンシブプログラムの導入、検定試験（TOEIC SW試験を含む）による語学能力の可視化推進、実践力を養成するための中国語・英語エリア拡大等を漸次推進していく。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

実務経験者等の多様な経歴・経験を有する者を採用し「出口が見える教育」を行ってきた。今後は、任期付き教員の採用（国際公募を含む）や協定校との人的交流の活性化を図り、グローバル人材による教育体制の強化を目指す。

○ グローバル教育力向上のための取組

海外協定校を中心にした教員の交換派遣に加え、本学教員が外国で教育を提供する機会を開拓する。また日本文化発信プロジェクトをFDの一環と位置付け、教員自らもグローバル人材としての資質を高める工夫を行う。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

学納金免除や奨学金充実等の経済支援をはじめ、海外協定校の大幅な拡充（インターンシップを含む）を目指す。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学中は、インターネットを通して学修や就職の相談・指導を行い、帰国後のスムーズな復帰を図る。また企業のニーズを把握し適切なキャリアデザインを構築できるよう産学・高大院連携のシンポジウムを開催する。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

1. 学生が修得すべき卓抜した語学力

中国語能力:中国語学科では中国語検定2級またはHSK5級以上、あるいは通訳案内士(中国語)。英語学科・観光交流文化学科では中国語検定4級またはHSK2級以上。

英語能力:中国語学科ではTOEIC500点以上、TOEFL iBT 52点以上、IELTS4.5点以上。英語学科・観光交流文化学科ではTOEIC 800点以上、TOEFL iBT 80点以上、あるいはIELTS 6点以上。

2. スマートでタフな交渉能力の修得

①日本及び中国語文化圏の歴史・文化・社会情勢等の知識や経験に裏打ちされた学際的素養と見識 ②言語・文化的習慣に基づくコミュニケーション上のわきまえ ③問題発見・解決力、自己表現力

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				10人	15人	30人	40人
うち海外留学未経験者数 (A)				5人	7人	10人	15人
海外留学経験者数 (B)		68人	49人	74人	89人	97人	102人
卒業[予定]者数 (C)		250人	244人	252人	250人	250人	250人
比率 ((A+B)/C)				31.3%	38.4%	42.8%	46.8%
外国語学部	卒業時の外国語力スタンダード	【中国語学科】 中国語検定2級、HSK 5級、通訳案内士(中国語)、TOEIC500点以上他 【英語学科・観光交流文化学科】 中国語検定4級、TOEIC 800点、TOEFLiBT 80点、IELTS 6点以上他		10人(5)	15人(7)	30人(10)	40人(15)
	海外留学経験者数	68人	49人	74人	89人	97人	102人
	3カ月未満	37人	17人	32人	39人	41人	43人
	3カ月～1年	31人	32人	42人	49人	54人	56人
	1年超	0人	0人	0人	1人	2人	3人
卒業[予定]者数		250人	244人	252人	250人	250人	250人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。